

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2290500194		
法人名	有限会社 中島介護サービスセンター		
事業所名	グループホームすまいる青葉		
所在地	静岡県熱海市青葉町26番37号		
自己評価作成日	令和8年2月10日	評価結果市町村受理日	令和8年3月26日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=2290500194-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	令和8年3月12日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

季節ごとの行事・行事食では利用者様のやりたい事、食べたい物の要望を聞きできるだけ提供できるようにしています。家庭的な雰囲気の中で生活できるよう努めています。地域の方とも交流できるよう町内のイベントには参加させていただいています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

隣家の高齢者とは双方の道路の掃除をそれぞれができる範囲でおこない、ウィンウィン(Win-Win)の関係を築いています。また運営推進会議のメンバーである町内会長からは行事情報が入り、全員で出かけた納涼祭では日陰になる屋根の下に椅子とテーブルが用意され、歓待を受けています。町内会長は常に親切で、ガス点検で詐欺があった事や災害対応への配慮や助言が届いています。また和食学園より、「外国人の生徒の卒業制作の料理を利用者に提供させてもらえないか」と申し出があり、去年から受けていて、今後も継続していく予定です。このように地域から尊重され、親切な対応を受けていることが事業所の特長です

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事務所に理念を掲示し「一緒に楽しく笑顔で」一日を過ごせるように心掛け、声掛けを行うようにしています。	「一緒に楽しく笑顔で」という理念を事務所に掲示しています。管理者から出勤時の職員へ、さらに職員から利用者へは朝食前に「今日も一日、一緒に楽しく笑顔でいきましょうね」と声をかけることが日々励行されています	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	感染対策をし来宮神社の天狗の慰問に来ていただいています。2か月に1回訪問理美容にも来ていただいています。外部からのお花の提供などもあります。	7月の「熱海こがしまつり(来宮神社大祭)」では厄除けの天狗の来訪があり、事業所からは祝儀を渡しています。また町内のこども神輿の練り歩きもあり、事業所前では神輿を担いで披露して下さっています	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	夏と冬の町内の大きなイベントに利用者様と参加させていただき地域の方との交流を図り、認知症の理解に努めています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事故報告についてのご意見・評価などをいただいています。いただいたアドバイスを実践してサービス向上に繋げられるようにしています。	場合によっては他事業所の開催日と重なり、市役所側の調整が難しくなることもある為、年間予定を渡してできるだけ参加が叶うようにしています。また議事録はボイスレコーダーを活用していることから、詳細が記録されています	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市の担当の方などには相談などをし情報交換や連携を図っています。	運営推進会議を通じて熱海市や地域包括支援センター職員から、外国籍の職員の日本語の理解についてや、部屋の中で転んでしまったケース等の質問や確認があることから、事業所でも説明できる機会があり、助かっています	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ヒヤリハット・事故報告書の内容を職員間で話し合いをして、情報共有すると共に身体拘束ゼロの意識を持ち取り組んでいます。	「身体拘束廃止委員会」「虐待防止検討委員会」を定期的実施するようになり、例えば深夜、ベッドから車いすに移ろうとして滑り落ちてしまった事例をはじめ、ケース検討がスムーズに成り立ち、有益に働いています	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待についての情報や資料を使って職員間で話し合ったり、意見交換をしながら虐待防止に努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護・後見人制度については管理者と介護支援専門員がたいおうしています。後見人制度など職員が学べる機会を設けるようにしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には料金・重度化した場合における対応やケアに関する考えや取り組みについて時間をかけて説明し、了解をしていただいた上同意が得られるようにしています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者・ご家族の意見や要望は会議等で話し合うようにしています。連絡を密にとる事で話しやすい環境を作るようにしています。毎月日中の様子を写真に撮り手書きのコメント入りで送っています。	「すまいる青葉通信」は、入居者の状況や主な活動、次期の主な予定といった活動状況を報せるものと、利用者一人ひとりの生活の様子がわかるコメント付きの写真のもの、2種類用意されていて、丁寧に家族へ報告が届けられています	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者と職員で個々に話す機会を作っています。意見や要望を聞くようにしています。会議などでも意見・要望・提案について話し合うようにしています。	基本は月1回の全体会議で話し合っていますが、その日に出勤の職員、翌日出勤した職員と、なるべく全ての職員から意見を聴取できるように管理者が努めていて、オペレーションの時間帯変更や物品購入に実っています	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の一人一人がやりがいや向上心を持つようにし働きやすい環境作りを心掛けています。資格取得支援制度も行っています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修の参加の機会がなくなっているため施設内での研修をしています。働きながらも知識や技術を高められるようにしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	会社全体での研修会や勉強会に参加しサービスの質の向上に努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の要望や不安を受け止められるよう十分に会話する機会を設け信頼関係が築けるように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族が安心してサービスを受けていただけるように努めています。面会時などには職員と少し話をして様子などを伝えています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人やご家族の思いを聞き必要に応じて居宅支援事業所、市役所、地域包括支援センターに連絡しサービスにつなげるよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者と職員が共同しながら一日一日を穏やかに生活できるように関係づくりに努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月送付する通信で近況報告をし、体調面で何かあった場合にはその日のうちにご家族へ連絡・報告をさせていただいています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	感染対策をした上で馴染みの美容院の方に来ていただいています。ご家族と外出・外食される方もいます。	面会の制限はありません。訪問理美容は隔月利用で16名が施術を受けており、内1名は馴染みの理髪店が訪れています。また2名の利用者が、在宅の頃の行きつけの美容院に家族と一緒に掛かっています	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士が関わりあえるように職員が調整し見守りをしています。利用者一人が孤立することのないように支援しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了したとしても必要に応じて相談に乗ったり、アドバイスをしています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活で関わり得た情報や利用者の思いを記録に残すようにしています。常にコミュニケーションを取り利用者の思いや願いなど細かく把握できることを行事として取り組むように努めています。	外国籍の職員が多いこともあり、利用者の思いや意向は主に管理者が聞き取っています。中には「本音が言いにくい」とこぼす人もいて、管理者が対応することが増えていますが、聞き取ったことは共有しています	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人から情報を引き出しこれまでの経過などの把握し、ご家族からより詳しく話を聞くようにしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の状態変化をしっかりと確認し、利用者について職員で意見交換を行い現状を把握することに努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族の要望などを電話や面会時に聞き取りし、介護支援専門員と検討し介護計画の見直し反映させています。	介護計画書の内容を確実に実行するためにも、職員からも確認のサインをもらっています。外国籍の職員は読み込めない為、現場で実践を通じて伝えていますが、一度では難しく複数回おこない、確実性を高めています	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	職員の気づきや利用者の状態変化は個別記録や日報に記載し口頭での申し送りをし情報共有の徹底を図っています。計画の見直しが必要な場合には話し合い、検討して活かせるようにしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者やご家族の希望や状況を確認して事業所内外のサービスの調整をし柔軟に対応できるように取り組んでいます。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	消防、警察、市役所、地域包括支援センター、社会福祉協議会等に必要最低限の協力をさせていただいています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所の協力医により月2回の訪問診療を行っています。歯科往診は週1回、訪問看護も週1回来訪していただいています。	看護師を複数人帯同する訪問診療医には18名の利用者が月2回受診しています。事業所では管理者か日本人の職員が立ち合い、医師からの指示は「往診結果」に記録しています。また訪問歯科も週1回、来所しています	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護ステーションと医療連携し週1回の訪問を実施しています。その際日常の様子や状態を報告し利用者の健康状態を共有しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際はご家族と共に医療機関の相談員と連絡を取り合い情報交換をしています。可能であれば面会時に医師や看護師から話を伺い早期退院支援に努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時にご家族、本人に重度化や終末期に向けた方針の確認をしています。必要時には終末期の方針をご家族、本人と再確認しています。	「看取りはおこなう」としていますが、開設から数年ということもあり、実績はありません。「ご利用者が重度化した場合における対応に関する指針について」を用いて説明し、「看取り意向確認書」とともに同意書を得ています	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者の急変や事故発生時には職員が初期対応の応急手当を行うようにし、隣接する訪問看護ステーションと連携を取るようになっています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災避難訓練を消防署の協力のもと実施しています。職員全員が訓練に参加できるようにしています。町内、市の防災訓練にも参加できるように努めていきます。	防災訓練は年2回実施済で、前年度は3月に夜間想定での訓練を加えて計3回おこなっています。来年度は消防署に水消火器を借りて、消火訓練とする予定があり、総じて「計画性がある」と受けとめられます	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	状況に応じた声掛けをし対応するようにしています。利用者の人格を尊重した対応ができるように職員で話し合いをしています。	同じ言葉でもテンションが低い状態と言われると印象が変わることから、「声のトーンにも気を付けてほしい」と管理者は日頃から伝えており、利用者の気持ちに配慮した非言語に向けた指導がおこなわれていることに感心します	呼称については本人の意向に沿っていて、家族に確認、承認を得るよう期待します
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で利用者とのコミュニケーションを充実させて話しやすい雰囲気を作るように心掛けています。利用者の思いや希望をできる限り実現できるように取り組んでいます。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	穏やかに生活できるよう支援しています。同じ階だけでなく、利用者同士の交流も大切にしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2か月に1回訪問理美容に来ていただいています。馴染みの美容師に来ていただいている方、ご家族と行きつけの美容院に行かれる方もいます。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	外食レクができていないため利用者に食べたいものなどを聞き、行事食・おやつレク・毎日の食事などで提供しています。	高齢者向けの食材に対応している業者に発注をしています。魚、肉、野菜類の冷凍食品が届き、今日何をを使うかはその日の調理担当の職員が決めています。また朝食は、パンとごはんを交互にして飽きないように工夫しています	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食量・水分量は毎日記録に残しています。食形態は利用者一人ひとりに合わせて提供しています。利用者の体調に合わせて栄養補助食品も取り入れています。水分がなかなか飲めない方には飲み物を変えて提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアは毎食後に行い、自己にてできる方は見守りをし自己にて難しい方は介助にて行っています。毎週火曜日に訪問歯科診療で歯科医師と口腔衛生士が来てくれています。その際相談もできるようにしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表で排泄パターンを把握しトイレでの排泄ができるよう声掛けを行っています。排便がない時は医師の指示のもと下剤を使用し便秘にならないようにしています。週1回の訪問看護師にも相談しています。	自立している場合は排便のない日数を把握して、トイレに向かう時に「お通じがありますか」と声をかけたり、トイレから出てきた後に「いかがでしたか」と確認しています。尿は個別に間隔を見ながら声をかけたり、パットの汚れ具合等でタイミングを見計らっています	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量を把握し水分不足にならないよう気をつけています。あまり飲みたがらない方には飲み物を変えて対応し飲んでいただいています。フルーツも定期的に提供するようにしています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴日を週2回と決めて利用者が習慣になるようにしています。毎月26日をお風呂の日とし入浴剤を入れたり、ゆず湯にして気分転換を図れるようにしています。日本の温泉地の入浴剤を入れる事で昔行った観光地や思い出話をしてくれています。	時節風呂の柚子湯のほか、毎月26日を「風呂の日」と決め、ご当地の入浴剤で雰囲気味わってもらっています。同性介助の希望者は1名いて、他にも「外人の職員は嫌だ」という利用者もおり、担当や日を変えて対応しています	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間安眠ができるよう日中に体を動かしたりしています。部屋の温度設定をこまめに行い良眠できるように対応しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的・副作用など職員がすぐに関覧できるようにしています。薬の変更時には薬局が詳しく説明してくれています。分からないことがあれば薬剤師に連絡し相談するようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご家族や本人に希望を聞き個々に合わせた支援に努めています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	普段は玄関外の花に水をあげたり、外気浴として屋外に出られるように支援しています。定期的に回ってくる回覧板を届けに行ったりしています。ご家族やご友人の方と外出・外食に行かれたりしています。	今年はドライブ外出が充実していました。また日向ぼっこでは、しゃぼん玉を楽しむことがあります。外気浴が更に充実するようにと、現在建物横の砂利が敷かれている空きスペースを、コンクリー塗装へ改修できないかと法人に申請中です	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現金は事務所内の金庫にて預らせていただいています。必要時にはすぐ使えるようにしています。不安になられる方にはお財布に小銭を入れて持っています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話をしたいという方には電話対応をしています。ご友人に手紙を書きたいという方で書くのが難しい方は代筆しています。やり取りが何回か続いて喜ばれています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は清潔に過ごせるよう朝・夕と2回掃除を行っています。季節のお花・置物など壁飾りを飾っています。	共用空間の掃除は1日2回おこない、居室と廊下については早番と遅番が担当分けて1日1回取組んでいます。基本はモップ乾拭きと濡れ雑巾の仕上げ拭きをおこない、手すりやトイレはアルコールで消毒していて、すがすがしい空気が流れています	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	相性やADLを考慮して決まった席を確保しています。定期的に席替えをし、利用者同士が交流を持てるようにしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際ご家族と本人で居室内の配置は決めてくれています。使い慣れた物、思い出のアルバムなど持参されています。生活する中で使い勝手が良くない場合には配置の変更をしています。	面会時に家族が花を毎回届けてくださるので、それが愛らしく飾られていたり、業者が運びこんだという大きな洋服ダンスや、足のせ用の台のついたクライニングチェアの持ち込みもあり、各居室は個性が光っています	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの力を把握できるように担当者を置きできる限り自立した生活が送れるように支援しています。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2290500194		
法人名	有限会社 中島介護サービスセンター		
事業所名	グループホームすまいる青葉		
所在地	静岡県熱海市青葉町26番37号		
自己評価作成日	令和8年2月10日	評価結果市町村受理日	令和8年3月26日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=2290500194-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	令和8年3月12日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

季節ごとの行事・行事食では利用者様のやりたい事、食べたい物の要望を聞きできるだけ提供できるようにしています。家庭的な雰囲気の中で生活できるよう努めています。地域の方とも交流できるよう町内のイベントには参加させていただいています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

隣家の高齢者とは双方の道路の掃除をそれぞれができる範囲でおこない、ウィンウィン(Win-Win)の関係を築いています。また運営推進会議のメンバーである町内会長からは行事情報が入り、全員で出かけた納涼祭では日陰になる屋根の下に椅子とテーブルが用意され、歓待を受けています。町内会長は常に親切で、ガス点検で詐欺があった事や災害対応への配慮や助言が届いています。また和食学園より、「外国人の生徒の卒業制作の料理を利用者に提供させてもらえないか」と申し出があり、去年から受けていて、今後も継続していく予定です。このように地域から尊重され、親切な対応を受けていることが事業所の特長です

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待し
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事務所に理念を掲示し「一緒に楽しく笑顔で」一日を過ごせるように心掛け、声掛けを行うようにしています。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	感染対策をし来宮神社の天狗の慰問に来ていただいています。2か月に1回訪問理美容にも来ていただいています。外部からのお花の提供などもあります。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	夏と冬の町内の大きなイベントに利用者様と参加させていただき地域の方との交流を図り、認知症の理解に努めています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事故報告についてのご意見・評価などをいただいています。いただいたアドバイスを実践してサービス向上に繋げられるようにしています。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市の担当の方などには相談などをし情報交換や連携を図っています。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ヒヤリハット・事故報告書の内容を職員間で話し合いをして、情報共有すると共に身体拘束ゼロの意識を持ち取り組んでいます。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待についての情報や資料を使って職員間で話し合ったり、意見交換をしながら虐待防止に努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待し
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護・後見人制度については管理者と介護支援専門員がたいおうしています。後見人制度など職員が学べる機会を設けるようにしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には料金・重度化した場合における対応やケアに関する考えや取り組みについて時間をかけて説明し、了解をしていただいた上同意が得られるようにしています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者・ご家族の意見や要望は会議等で話し合うようにしています。連絡を密にとる事で話しやすい環境を作るようにしています。毎月日中の様子を写真に撮り手書きのコメント入りで送っています。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者と職員で個々に話す機会を作っています。意見や要望を聞くようにしています。会議などでも意見・要望・提案について話し合うようにしています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の一人一人がやりがいや向上心を持てるようにし働きやすい環境作りを心掛けています。資格取得支援制度も行っています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修の参加の機会がなくなっているため施設内での研修をしています。働きながらも知識や技術を高められるようにしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	会社全体での研修会や勉強会に参加しサービスの質の向上に努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待し
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の要望や不安を受け止められるよう十分に会話する機会を設け信頼関係が築けるように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族が安心してサービスを受けていただけるように努めています。面会時には職員と少し話をして様子などを伝えています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人やご家族の思いを聞き必要に応じて居宅支援事業所、市役所、地域包括支援センターに連絡しサービスにつなげるよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者と職員が共同しながら一日一日を穏やかに生活できるように関係づくりに努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月送付する通信で近況報告をし、体調面で何かあった場合にはその日のうちにご家族へ連絡・報告をさせていただいています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	感染対策をした上で馴染みの美容院の方に来ていただいています。ご家族と外出・外食される方もいます。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士が関わりあえるように職員が調整し見守りをしています。利用者一人が孤立することのないように支援しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待し
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了したとしても必要に応じて相談に乗ったり、アドバイスをしています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活で関わり得た情報や利用者の思いを記録に残すようにしています。常にコミュニケーションを取り利用者の思いや願いなど細かく把握しできることを行事として取り組むように努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人から情報を引き出しこれまでの経過などの把握し、ご家族からより詳しく話を聞くようにしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の状態変化をしっかりと確認し、利用者について職員で意見交換を行い現状を把握することに努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族の要望などを電話や面会時に聞き取りし、介護支援専門員と検討し介護計画の見直し反映させています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	職員の気づきや利用者の状態変化は個別記録や日報に記載し口頭での申し送りをし情報共有の徹底を図っています。計画の見直しが必要な場合には話し合い、検討して活かせるようにしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者やご家族の希望や状況を確認して事業所内外のサービスの調整をし柔軟に対応できるように取り組んでいます。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待し
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	消防、警察、市役所、地域包括支援センター、社会福祉協議会等に必要最低限の協力をいただいています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所の協力医により月2回の訪問診療を行っています。歯科往診は週1回、訪問看護も週1回来訪していただいています。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護ステーションと医療連携し週1回の訪問を実施しています。その際日常の様子や状態を報告し利用者の健康状態を共有しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際はご家族と共に医療機関の相談員と連絡を取り合い情報交換をしています。可能であれば面会時に医師や看護師から話を伺い早期退院支援に努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時にご家族、本人に重度化や終末期に向けた方針の確認をしています。必要時には終末期の方針をご家族、本人と再確認しています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者の急変や事故発生時には職員が初期対応の応急手当を行うようにし、隣接する訪問看護ステーションと連携を取るようになっています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災避難訓練を消防署の協力のもと実施しています。職員全員が訓練に参加できるようにしています。町内、市の防災訓練にも参加できるように努めていきます。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待し
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	状況に応じた声掛けをし対応するようにしています。利用者の人格を尊重した対応ができるように職員で話し合いをしています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で利用者とのコミュニケーションを充実させて話しやすい雰囲気を作るように心掛けています。利用者の思いや希望をできる限り実現できるように取り組んでいます。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	穏やかに生活できるよう支援しています。同じ階だけでなく、利用者同士の交流も大切にしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2か月に1回訪問理美容に来ていただいています。馴染みの美容師に来ていただいている方、ご家族と行きつけの美容院に行かれる方もいます。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	外食レクができていないため利用者に食べたいものなどを聞き、行事食・おやつレク・毎日の食事などで提供しています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量は毎日記録に残しています。食形態は利用者一人ひとりに合わせて提供しています。利用者の体調に合わせて栄養補助食品も取り入れています。水分がなかなか飲めない方には飲み物を変えて提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアは毎食後に行い、自己にてできる方は見守りをし自己にて難しい方は介助にて行っています。毎週火曜日に訪問歯科診療で歯科医師と口腔衛生士が来てくれます。その際相談もできるようにしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待し
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表で排泄パターンを把握しトイレでの排泄ができるよう声掛けを行っています。排便がない時は医師の指示のもと下剤を使用し便秘にならないようにしています。週1回の訪問看護師にも相談しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量を把握し水分不足にならないよう気をつけています。あまり飲みたがらない方には飲み物を変えて対応し飲んでいただいています。フルーツも定期的に提供するようになっています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴日を週2回と決めて利用者が習慣になるようにしています。毎月26日をお風呂の日とし入浴剤を入れたり、ゆず湯にして気分転換を図るようにしています。日本の温泉地の入浴剤を入れる事で昔行った観光地や思い出話をしてもらっています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間安眠ができるよう日中に体を動かしたりしています。部屋の温度設定をこまめに行い良眠できるように対応しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的・副作用など職員がすぐに関覧できるようにしています。薬の変更時には薬局が詳しく説明してくれています。分からないことがあれば薬剤師に連絡し相談するようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご家族や本人に希望を聞き個々に合わせた支援に努めています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	普段は玄関外の花に水をあげたり、外気浴として屋外に出られるように支援しています。定期的に回ってくる回覧板を届けに行ったりしています。ご家族やご友人の方と外出・外食に行かれたりしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待し
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現金は事務所内の金庫にて預からせていただいています。必要時にはすぐ使えるようにしています。不安になられる方にはお財布に小銭を入れて持っていただいています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をしたいという方には電話対応をしています。ご友人に手紙を書きたいという方で書くのが難しい方は代筆しています。やり取りが何回か続いて喜ばれています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は清潔に過ごせるよう朝・夕と2回掃除を行っています。季節のお花・置物など壁飾りを飾っています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	相性やADLを考慮して決まった席を確保しています。定期的に席替えをし、利用者同士が交流を持てるようにしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際ご家族と本人で居室内の配置は決めてくれています。使い慣れた物、思い出のアルバムなど持参されています。生活する中で使い勝手が良くない場合には配置の変更をしています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの力を把握できるように担当者を置きできる限り自立した生活が送れるように支援しています。		